

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

2014年度ユネスコスクール活動実践報告

北海道キリスト教学園 湖畔幼稚園

ユネスコスクール活動の3つの大きなテーマに基づき、年度初めにカリキュラムを立てて取り組んでいる。活動を通して、本活動が日々の保育の中に深く浸透し、教師個々が自覚をもって取り組むことができるようになったことは評価出来ることである。また、活動の各テーマが密接に関連し合って、特に、地域交流の分野で近隣との信頼関係等が深められたことは、今年度の成果としてあげられる。更により良い取り組みを模索し充足感のある取り組みを目指す。

《環境教育》

～収集活動（エコキャップ・リングプル・古切手・未使用ハガキ）～

収集活動が園児、教師、保護者、地域の方に定着。収集物の量も増え、着実に寄付活動に貢献している。どの位の量でどのような貢献ができているのか、収集物コーナーやおたよりでわかり易く知らせることも、定着してきた要因のひとつと考えられる。また、意識を持った教職員の働きかけにより、子どもたち自身が収集活動に興味を持ち、家庭で自ら収集しようとする様子も伺え、子どもたち自身がその大切さを認識していることが感じられる。

～美化活動～

春には、子どもたちとともにプランターに花を植え付け、園の周囲に花を飾り、園のまわりや近くの公園・道路のゴミ拾いをして、美化活動を行った。秋植えの花も花壇できれいな花を咲かせ、自分たちの幼稚園が花で飾られているのを、子どもたちはもちろん、保護者や近隣の方々と、優しい気持ちで受け止めることができた。

～栽培活動～

園の小さな畑に各学年がそれぞれに野菜の苗や種を植えての栽培活動や、園外に農地を借りての栽培活動は例年通り行うことができた。日々収穫した食材を料理するなどして食べ、特にカレーパーティーでは園全体で楽しむことができた。今年初の取り組みとしての園全体での焼き芋パーティーは子ども達の印象に深く残り、良い取り組みとなった。また、収穫物を近隣の方々にも味わっていただき、地域の方々との関わりを深めることができた。

～廃品利用～

普段ならゴミになる廃品を集め、子どもたちがそれらを自由に利用できるコーナーを継続して提供した。子どもたちの創意工夫が豊かになり、異年齢での関わりも深められた。また、それらの活動で創り上げる喜びを感じ、大きな満足感を得ることができていた。また、今年度は特に園庭に自然物（どんぐり・木の実）を持ち込み、それらを使っでの自由遊びを充実させることもできた。更により豊かな環境づくりを目指す。



豊富な自然物を使っての外遊び



じゃがいも栽培作業
2



やきいもパーティー

《国際理解》

～えいごあそび～

アメリカ人英語講師による英語遊びを継続。4年目となった。“英語”という馴染みのある言語を楽しむことができ、講師との交流により異文化に肌で触れる良い機会となっている。また、収集活動を通して、収集の目的となっている世界の窮状を知り、多くの国の現状にも目を向けることができた。

～日本文化理解～

異文化に触れることと同時に自分達の国である、日本についても理解を深める目的で、日本文化に触れる取り組みを行う。



着物に親しんで



祖父母を迎えての
もちつき



ライアン先生との
えいごあそび

《地域交流》

～ふれあいデー～

近隣の介護老人保健施設に定期的に訪問。施設の方々が、遊びのコーナーを作って子ども達を待っていて下さり、一緒に交流しながらブロック・パズル・ぬり絵等を楽しむことができた。また、こども達も歌や踊りを披露したり、マッサージを行い、施設の方々に『元気パワー』を届けることで、大きな喜びとなった。今年度は新たに未就園児クラスも訪問することができた。

～ふれあいタイム～

近隣の介護老人保健施設の利用者の方々が職員の方とともに園を訪問して下さるようになって3年目。なかなか触れ合うことのできなかつたこどもたちも、今では率先してお世話をし、一緒に遊ぶことができるようになった。利用者の方々においても、園でのふれあいタイムを心待ちにして下さり、子ども達に会うために、日々の訓練等に意欲的に参加、歩けるようになるなどの症状の改善が報告されている。

～ご近所の方へ～

園の周りの事業所や住宅の方へ、農地で栽培したじゃがいもや収穫感謝でささげられた果物を持って子どもたちが訪問。「どうぞ食べてください！」と日頃の感謝も伝えることができた。普段はあまり交わることができない近隣の方々との貴重な交流の場となり、ふれあいを深めることができた。また、園行事のクリスマス会などへのご案内を行い、行事の様子を見てもらうことで喜んでいただきことができました。



老健施設の方々と
ふれあいデー



一緒にあそぼう！
ふれあいタイム



「どうぞ、食べてください！」
ご近所訪問

～鮭の稚魚飼育—放流に向けて～

釧路シャケの会のお誘いにより、鮭の卵をいただき、孵化するところからの、飼育を行っている。5月5日の放流に向けて現在も大切に育てられており、環境への優しい心が育まれている。



「大きくな～れ」声
をかける子ども達



鮭の赤ちゃん



鮭の赤ちゃんを
絵に描く子ども達

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()